



策定の主旨



1. 策定の主旨

1.1 策定の背景と目的

大阪府・大阪市・堺市においては、東西二極の一極を担う副首都として、大阪がさらに成長・発展していくため、2050年を目標として、大阪全体のまちづくりの方向性を示す、「大阪のまちづくりグランドデザイン」を2022年12月に策定しました。

このグランドデザインを羅針盤として、民間の活力を最大限引き出しながら、多様な主体が一体となって、大阪全体のまちづくりを推進することとしています。

グランドデザインで掲げている、放射・環状の交通ネットワーク上を中心に多様な都市機能を備えた特色ある拠点エリアや魅力ある生活圏が相互に連携する「マルチハブ&ネットワーク型都市構造」の実現に向けては、これまで進められてきた、まちづくりの成果等について横展開を図ることで、市町村や民間事業者等による自律的な取組を促進します。

また、社会情勢や技術革新等に伴い社会ニーズも変化することから、国の動向やまちづくりにかかる社会トレンドなどを的確に把握し、地域の特性に応じたまちづくりを進めていくことが求められます。そのため、地域課題の解決に取り組む市町村等に対し、まちづくりの新たな考え方等を示すとともに、技術的な支援を行い、市町村や民間事業者等が進めるまちづくりを支援します。

本指針では、グランドデザインのめざすべき都市像をはじめ、府域における地域構造や社会トレンドを踏まえた「広域的観点から推進すべき取組」について示すとともに、多様化・複雑化する制度や事例等を、まちづくりに活用しやすいよう体系的に整理し、「まちづくりに活用できる制度・事例等」として紹介しています。

特に、「4.3 各取組の具体的な進め方」では、市町村等の実務担当者が参考にしながら取組を進められるよう、具体的な進め方として、手順や留意すべきポイントなどを順次、記載していきます。

さらに、まちづくりの推進には、社会ニーズの変化によって生じる、新たな取組への対応等が必要であるため、本指針は適宜内容を更新していく予定です。

本指針をまちづくりの手引書としてご活用いただき、多様な主体が一体となったまちづくりの一層の推進が図られることを期待しています。

1.2 本指針の活用イメージ

本指針の活用により、まちづくりに取り組む市町村、民間事業者及び地域の活動主体等に、ランドデザインの理念や府域における地域構造等をご理解いただき、まちづくりに係る取組の進め方を具体的にイメージしながら、主体的にまちづくりに取り組んでいただくことを期待しています。

【本指針の活用によって期待する積極的なアクション】

市町村	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域のまちづくりの取組の具体化、推進 ・ 「広域的観点から推進すべき取組」の考え方等を踏まえた、関係者連携のコーディネートに関する要請や、新たな検討テーマの提案 など
民間事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりへの積極的な参画 ・ 行政に対する公民連携の提案、働きかけ など
地域の活動主体	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちづくりの担い手として、地域活動を展開 ・ 市民ニーズ等の提示、支援の要請 など

加えて、大阪都市計画局が行う、多様な主体が一体となったまちづくりのコーディネートや、まちづくり情報の提供・技術的支援など、様々な機会において、本指針を支援ツールとして活用し、市町村のまちづくりを効果的に支援します。

【ランドデザインの推進における市町村等の自律的なまちづくりの支援】

